

第2部2006年度事業報告

2006年度総括

(1) 2006年度方針

(2) ふりかえり

1. ネットワーク活動

ネットワークの再構築

例会・拡大学習会

ネットワーク NGO 研究会「未来へ向けたネットワーク NGO のあり方」〈受託〉

NGO 支援無償資金協力セミナー〈受託〉

第4回「ネットワーク NGO 全国会議」

加盟団体への情報提供

2. 政策提言活動

NGO-外務省定期協議会

NGO-JICA 協議会

声明文及び意見書の発信

3. 啓発活動

関西 NGO 大学

講師紹介

4. 人材育成（及び NGO への参加促進）活動

NGO 相談員〈受託〉

アカウンタビリティ研究会〈受託〉

政策提言担い手セミナー

ウェブサイトでの情報発信

5. その他

NGO-JICA 連携による実践的参加型地域開発コース

6. 組織の充実

定期総会

理事会

事務局

2006 年度総括

(1) 2006 年度方針

加盟団体間でネットワークの意義を再確認し、関西 NGO 協議会の果たすべき役割を明確化する。
自立的な財政・運営態勢を立案する。
上記 を実行に移す為に、既存事業の整理と業務分担の見直しをおこなう。

(2) ふりかえり

- ・「ネットワークの再構築」として、加盟団体へのアンケートとヒアリングを実施した。各加盟団体の現状を把握し、ネットワークの活動の現状を知らせる機会となった。
- ・「加盟団体との関係性」を主テーマとした、ネットワーク NGO 研究会に参加した。加盟団体へのニーズ調査やセミナーを通じて、各地域のネットワーク NGO と共にネットワーク NGO のあり方について協議・検討した。
- ・通常の理事会より多く時間を取って「集中理事会」を開催するなど、今後の関西 NGO 協議会のあり方について時間をかけて協議をおこなった。

1. ネットワーク活動

+ : 成果、改善できた点 - : 未達成の事項、今後の課題

ネットワークの再構築

アンケート : 25 団体

ヒアリング : 25 団体

例会・拡大学習会

第 1 回

日時 : 2006 年 8 月 1 日 (火) 18:30 ~ 21:00

会場 : 大阪聖パウロ教会 1 階中集会室

出席者 : 加盟団体 10 団体 10 名、その他団体 3 団体 3 名、事務局 5 名 (職員 3 名、NGO 専門調査員 1 名、ボランティア 1 名)

学習会テーマ : スタディツアーの危機管理

発題者 : 山田和生さん (株) マイチケット

第 2 回

日時 : 2006 年 10 月 19 日 (木) 18:30 ~ 21:00

会場 : 大阪聖パウロ教会 1 階中集会室

出席者 : 加盟団体 9 団体 10 名、事務局 5 名 (職員 2 名、NGO 専門調査員 1 名、ボランティア 1 名、インターン 1 名)

拡大学習会テーマ : NGO スタッフのメンタルケア

事例発表者 : 中谷みさこさん (財) 大阪 YWCA

第 3 回

日時：2007年2月20日(火) 18:30～21:00

会場：大阪聖パウロ教会 1階中集会室

出席者：加盟団体6団体6名、その他団体1団体1名、事務局2名、NGO専門調査員1名

学習会テーマ：こうすればもっとよくなる！ホームページ検討会

発題者：福島昭夫さん 関西NGO協議会ホームページボランティア

- + 事務会で例会の新しい名称を考えるなど、加盟団体の意見を取り入れるための新しい試みをおこなった。
- 加盟団体の出席数が伸び悩んでいる。理事会では、例会を京都、神戸などの加盟団体事務所でおこなうという提案が出された。今後検討していく。

ネットワークNGO研究会「未来へ向けたネットワークNGOのあり方」<受託>

参加ネットワーク：(特活)国際協力NGOセンター、(特活)横浜NGO連絡会、(特活)名古屋NGOセンター、四国NGOネットワーク、(特活)NGO福岡ネットワーク、沖縄NGO活動推進協議会、(特活)関西NGO協議会

第1回「ネットワークNGOの必要性と地域型NGOの位置づけ」

日時：2006年7月21日(金)

会場：早稲田奉仕園内AVACOビル2階 AVルーム

出席団体：7団体11名

第2回「ネットワークNGOのビジョン・リソース・障害」

日時：2006年9月21日(木)

会場：大阪聖パウロ教会4階 研修室

出席団体：6団体9名

ファシリテーター：永井美佳、梶英樹((社福)大阪ボランティア協会)

第3回「加盟団体とネットワークNGOの関係構築」

日時：2006年11月10日(金)

会場：COMBi本陣N106会議室

出席団体：6団体10名

ファシリテーター：村山佳江((特活)名古屋NGOセンター)

第4回「他分野中間支援組織の運営手法」

日時：2006年12月20日(水)

会場：大阪聖パウロ教会4階 研修室

出席団体：7団体10名

ファシリテーター：永井美佳((社福)大阪ボランティア協会)

第5回「国際協力分野におけるネットワークNGOの役割」

日時：2007年1月30日(火)、31日(水)

会場：早稲田奉仕園会館100

出席団体：7団体15名

講師：黒田かをり（CSO ネットワーク）、大橋正明（(特活)シャプラニール）

第6回「今後3~5年後のネットワーク NGO のあり方の提示」

日時：2007年3月9日（金）

会場：YOU・Iホール

出席団体：15団体 21名

- + 他の地域ネットワークの状況を把握でき、ネットワークの再構築の参考になった。
- 加盟団体に何度もアンケートやヒアリングを依頼することになり、負担をかけてしまった。

NGO 支援無償資金協力セミナー < 受託 >

日時：2006年7月1日（土）14:30~18:00

会場：(財)大阪YWCA

出席者：加盟団体5団体5名、その他団体14団体15名、事務局4名（職員2名、インターン2名）

- + 当該制度を利用した経験のある加盟団体の協力により、これから申請を考えている団体を対象としたわかりやすいプログラムを企画することができた。
- 参加団体数が伸び悩んでいる。広報や対象の設定など、再考する必要がある。

第4回「ネットワーク NGO 全国会議」

日時：2006年6月24日（土）~25日（日）

会場：名古屋国際センター

出席団体：ネットワーク NGO（全国活動型、地域拠点型、分野・課題別）16団体 37名

オブザーバー（JICA、(社)青年海外協力協会、名古屋国際センター、(財)日本国際協力システム、(財)愛知県国際交流教会）：10名

プログラム：

全体会 発題「地域のネットワーク NGO に期待すること」

第1分科会：NGO と ODA

第2分科会：市民

第3分科会：組織強化

加盟団体への情報提供

関西 NGO 協議会の活動状況の報告、各種研修・助成金等の案内などを随時メールニュースで発信した。年間のメールニュース発信数：177件

2. 政策提言活動

提言専門委員会：

委員	(特活) AM ネット	川村 暁雄
委員	(特活) AM ネット	神田 浩史
委員	(特活) AM ネット	三輪 敦子
委員	(特活) アジアボランティアセンター	山本 愛

委員	(財)大阪YWCA	山本 知恵
委員	(社)日本国際民間協力会	折居 徳正
委員	個人会員	中田 豊一

2006年度は、10回の提言専門委員会を開催した。

NGO-外務省定期協議会

【連携推進委員会】

委員:(財)PHD協会 藤野 達也、榛木 恵子

第1回

日時:2006年7月7日(金)

場所:JICA広尾(地球ひろば)セミナールーム301

参加者(発題):NGO7団体9名、外務省9名

参加者(オブザーバー):NGO11団体13名、JICA2名

第2回

日時:2006年11月10日(金)

場所:JICA広尾「地球ひろば」セミナールーム202

参加者(発題):NGO6団体7名、外務省18名

参加者(オブザーバー):NGO19団体22名、外務省3名、JICA1名、JBIC1名

第3回

日時:2007年3月2日(金)

場所:外務省研修所804大教室

参加者(発題):NGO7団体8名、外務省12名

参加者(オブザーバー):NGO8団体13名、JICA2名

【ODA政策協議会】

コーディネーター:(特活)AMネット

川村 暁雄

事務局:

瀬良 香織

第1回

日時:2006年7月28日(金)

場所:外務省南庁舎 272号室

参加者:NGO22団体27名、外務省20名、
JICA2名、JBIC1名

第2回

日時:2005年12月4日(月)

場所:外務省南庁舎 272号室

参加者:NGO16団体22名、外務省16名、
JICA1名、JBIC1名

第3回



<ODA政策協議会第3回:京都開催>

日時：2006年3月16日（金）

場所：ウイングス京都 セミナー室B

参加者：NGO19団体37名、外務省4名、JICA1名

【全体会】

コーディネーター：（特活）AM ネット 川村 暁雄

事務局： 榛木 恵子

日時：2006年6月2日（金）

場所：外務省 南庁舎 893号室

参加者：NGO29団体42名、外務省14名

参加者（オブザーバー）：JBIC1名、JICA3名、国際機関1名、プレス1名、一般8名

NGO-JICA 協議会

【NGO-JICA 協議会】＜受託：事務局＞

委員：（財）PHD 協会 藤野 達也

委員・事務局： 宮下 和佳

第1回

日時：2006年5月22日（月）

場所：JICA 地球ひろば セミナールーム 301

参加者（発題）：NGO5団体9名、JICA19名

参加者（オブザーバー）：NGO4団体4名、外務省2名、JBIC1名、その他1名

第2回

日時：2006年9月9日（土）

場所：COMBi 本陣 共同会議室 N106

参加者（発題）：NGO6団体10名、JICA12名

招待参加者：JBIC2名

参加者（オブザーバー）：NGO7団体7名

第3回

日時：2006年12月9日（土）

場所：JICA 大阪 2F プリーフィングルーム

参加者（発題）：NGO3団体6名、JICA13名

招待参加者：JBIC2名

参加者（オブザーバー）：NGO5団体7名

第4回

日時：2007年3月13日（火）

場所：JICA 本部 11AB 会議室

参加者（発題）：NGO11名、JICA20名

参加者（オブザーバー）：NGO8名

【地域会合】

日時：2007年1月20日（土）

場所：JICA 横浜国際センター 4階「かもめ」、セミナールーム4、5、6、7

参加者：NGO38名、JICA13名

【連携事業検討会】年間9回開催

委員：日本国際飢餓対策機構 清家 弘久

【評価小委員会】年間5回の委員会と現地調査を実施

委員：(特活) アクセス - 共生社会を考える地球市民の会 北條 和司

個人会員 中田 豊一

【開発教育小委員会】年間3回開催

委員：(財)日本クリスチャンアカデミー関西セミナーハウス(開発教育研究会) 岩崎 裕保

声明文及び意見書の発信

・「国際協力に関する有識者会議」に関する意見書の提出（賛同：25団体、個人14名、巻末付録4参照）

+ 大阪でおこなわれた第3回 NGO-JICA 協議会では、加盟団体から議題提案がなされた。

+ 外務省の「国際協力に関する有識者会議」への NGO 委員の選出ならびに同会議ののあり方に関する意見書を外務省に提出し、NGO 委員の増加など一定の成果を得た。

3. 啓発活動

関西 NGO 大学

期間：2006年9月～2007年2月

参加者：のべ167名（第1～6回平均27名）加盟団体参加者：11名

運営委員会

校長：藤野 達也	(財) PHD 協会
副校長：浜本裕子	(財) 大阪 YMCA
運営委員：荒川 共生	(特活) アジアボランティアセンター
稲垣 文拓	関西 NGO 大学修了生、会社員
稲永 学	関西 NGO 大学修了生、会社員
岡 祐里子	関西 NGO 大学修了生、青年海外協力隊 OG
岡部 達彦	関西 NGO 大学修了生、団体職員
片岡 法子	関西 NGO 大学修了生、会社員
河端 さやか	関西 NGO 大学修了生、大学生
佐久間 量子	関西 NGO 大学修了生、派遣社員
篁 正康	関西 NGO 大学修了生、建築家
田中 綾	関西 NGO 大学修了生、大学職員
田中 千晶	関西 NGO 大学修了生、小学校教員
中西 沙恵	関西 NGO 大学修了生、大学生
中山 晋吾	(特活) アジアボランティアセンター

福ヶ迫美歩	関西 NGO 大学修了生、青年海外協力隊 OG
三浦 弘志	関西 NGO 大学修了生、デザイナー
山下 奈美	関西 NGO 大学修了生、会社員
吉田 有希	(特活) インドマイトリの会
藤井 久美子	関西 NGO 大学修了生、中学校教員

- ・初回到 5 つの加盟団体から発題者を得て、受講者に協議会および加盟団体の活動を伝えることができ、双方に好評であった
- ・運営に関する事務を運営委員も担当することになり、協議会事務局の業務軽減につながったのではないかと。また今後の運営に向け、多くの経験となった
- ・立ち上げと広報の遅れにより、多くの参加者を得るには至らなかったが途中での減少はなく、収支上の問題はなかった
- ・久しぶりに表現を扱う企画もあり、最終回のグループ発表も多様な内容となり、幅広く国際協力を呼びかけることができたのではないかと
- ・20 周年を迎え、最終回には過去の修了生、運営委員にも声をかけ、参加を得ることができ、継続の力を感じた
<コメント：藤野 達也>

講師紹介

龍谷大学

期間：2006 年 6 月～2007 年 1 月（後期）

紹介講師：(特活) アクセス - 共生社会をめざす地球市民の会 -	森脇 祐一
(特活) アジアボランティアセンター	荒川 共生、山本 愛
(特活) AM ネット	神田 浩史
(財) 大阪 YMCA	浜本 裕子
日本国際飢餓対策機構	清家 弘久
(社) 日本国際民間協力会	折居 徳正
(財) PHD 協会	藤野 達也
イラクの子どもを救う会	西谷 文和
(特活) 開発教育協会	佐藤 友紀
NGO サマサマ	小吹 岳志
(特活) CODE 海外災害援助市民センター	村井 雅清
(特活) 関西 NGO 協議会	榛木 恵子

薫英女子短期大学

期間：2006 年 4 月～7 月（前期）

紹介講師：(特活) アジアボランティアセンター	間野 千里
(特活) インドマイトリの会	吉田 有希
(財) 大阪 YWCA	浅井 千賀
(特活) CODE 海外災害援助市民センター	飯塚 明子
日本国際飢餓対策機構	清家 弘久
(特活) 関西 NGO 協議会	榛木 恵子

京都光華女子大学

期間：2006年8月（集中講義）

紹介講師：(特活) アクセス - 共生社会をめざす地球市民の会	大塚彰、廣瀬昌代、田中雅親
日本国際飢餓対策機構	清家 弘久
イラクの子どもを救う会	西谷 文和
(特活) 開発教育協会	佐藤 友紀
(社) 日本国際民間協力会	折居 徳正、林田
(特活) 関西 NGO 協議会	榛木 恵子

帝塚山学院大学

期間：2006年9月・12月（集中講義）

紹介講師：日本国際飢餓対策機構	清家 弘久
(財) PHD 協会	藤野 達也

京都産業大学

期間：2006年6月

紹介講師：(特活) アクセス - 共生社会をめざす地球市民の会	森脇 祐一
---------------------------------	-------

その他講師紹介

- ・日立労組研修
- ・フィランソロピールリンクアップフォーラム 木川 こずえ

講師派遣（関西 NGO 協議会スタッフの派遣）

- ・榛木 恵子：京都光華女子大学、薫英女子短期大学、帝塚山学院大学、(特活) 日本 NPO センター、龍谷大学、龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
- ・宮下 和佳：クレオ大阪西、神戸女学院大学、明治大学
- ・瀬良 香織：大阪ボランティア協会、大阪ロータリークラブ

+ 教育機関からの依頼だけではなく、他セクターが開催するセミナーの講師、アドバイザー等の依頼も増加して、対象者の幅が広がっている。

- 加盟団体とのユニット型の講演は好評であるが、やはりコーディネーター費（事務局経費）が捻出できず、収支バランスの改善ができなかった。

榛木：大阪府総合計画審議会委員、外務省独立行政法人評価委員会委員

4. 人材育成（及び NGO への参加促進）活動

NGO 相談員＜受託＞

期間：2006年5月～2007年3月

相談件数：339年間件（月次平均30件）

+ 加盟団体のイベントを中心に出張

サービスを実施した。

- + 2005 年度 NGO 専門調査員が作成したマニュアルとウェブサイトの FAQ を活用することで、一件一件への対応が深まった。
- + 団体設立やマネジメントに関する相談など、多様な相談の経験を蓄積している。
- 2005 年度調査員からの提言であった「相談事例検討会」を実施できなかった。



<出張サービス:(特活)CODE 海外災害救助市民センターにて>

アカウントビリティ研究会<受託>

関西セミナー

日時: 2006 年 12 月 16 日(日) 13 時~17 時半

場所: piaNPO 6 階 中会議室(大阪市港区築港 2 丁目 8-24)

参加者: 18 名(加盟団体 2 団体、その他団体 6 団体)

プログラム:

セッション 1 「アカウントビリティとは?」

講師: 新田 和宏さん 近畿大学生物理工学部教員、地球市民教育総合研究所長、(特活)関西 NGO 協議会会員

セッション 2 「ドナーから見たアカウントビリティ」

講師: 松吉 徹也さん 松下電器産業株式会社 社会文化グループ フィランソロピーチーム主事

セッション 3 「会計のアカウントビリティ」

講師: 伊藤 公男さん (特活)関西 NGO 協議会会員

- + 個人会員 2 名に委員として企画・運営を担っていただき、それぞれの経験・知見を活かした完成度の高いプログラム立案を実現できた。
- + 参加団体の満足度が非常に高かった(アンケートや口頭でのフィードバックから)。
- 参加団体数が 8 団体に留まった。開催日時・場所等の検討が必要である。

政策提言担い手セミナー

第 1 回「そもそも ODA って?」

日時: 2007 年 1 月 21 日(日)

場所: 大阪聖パウロ教会 会議室

講師: 神田 浩史さん (特活)AM ネット、ODA 改革ネットワーク

参加者: 30 名

第 2 回「ケーススタディ(1)個別案件」

日時: 2007 年 1 月 27 日(土)

場所: 大阪聖パウロ教会 会議室

講師: 小田川 華子さん 花園大学社会福祉学部

参加者：11名

第3回「政策思考の基本と政策提言のノウハウ」

日時：2007年2月3日（土）

場所：大阪国際交流センター

（「ワン・ワールド・フェスティバル」内）

講師：新田 和宏さん 近畿大学生物理工学部

参加者：23名

第4回「ODAを動かしている人たち」

日時：2007年2月10日（土）

場所：大阪聖パウロ教会 会議室

講師：岡島 克樹さん 大阪大谷大学人間社会学部

参加者：17名



<政策提言担い手セミナー：第5回>

第5回「ケーススタディ（2）政策決定プロセス」

日時：2007年2月24日（土）

場所：大阪聖パウロ教会 会議室

講師：川村 暁雄さん（特活）AM ネット、ODA改革ネットワーク

参加者：19名

- +参加者が ODA ポータルサイトの作成に取りかかったり、「ADB 京都総会・市民フォーラム」の中心的なボランティアを担ったりするなど、セミナー後のステップへと一定程度つなげる事ができた。
- +ECC コンピュータ専門学校と ECC 社会貢献センターの協力により、斬新なデザインの広報チラシを作成することができ、参加者・関係者に好評であった。
- 当初想定していた政策提言の担い手に直結するような参加者（既に国際協力に関わっている層）よりも、入門者層からの参加が多かった。セミナーの開催形式・広報先や手段をふりかえると共に、参加者層の設定自体も再考する必要がある。

ウェブサイトでの情報発信

加盟団体及び関西 NGO 協議会の情報（イベント・人材募集・キャンペーン等）を随時掲載した。

1日平均アクセス数：約 80 件

- 昨年度に比較して、1日平均アクセス数が減少している。

5. その他

NGO-JICA 連携による実践的参加型地域開発コース

期間：2007年1月10日（水）～2月23日（金）

研修員：NGO 職員及び政府機関職員 14 名（12 カ国：ベナン（1）、スリランカ（1）、ボリビア（1）、中国（2）、カンボジア（2）、ミャンマー（2）、ドミニカ共和国（1）、エクアドル（1）、インドネシア（1）、マラウイ（1）、スリランカ（1）、トルコ（1））

国内参加者：NGO1 団体 1 名、その他 1 名

運営委員会：

委員	(財) PHD 協会	藤野 達也
委員	日本国際飢餓対策機構	清家 弘久
委員	事務局長	榛木 恵子
ファシリテーター	いりぬい・よりぬい・まぶぬい ネットワーク	長畑 誠
ファシリテーター	(特活) AM ネット	三輪 敦子

+ 加盟団体カウンターパートから 2 名の研修員が参加した
(日本国際飢餓対策機構、(財) 大阪 YWCA)。

+ 加盟団体 ((特活) アジアボランティアセンター) に研修
の一部の企画・運営を担当していただいた。

- 年度末の実施だったこともあり、国内 NGO からの参加
が 1 名に留まった。



<実践的参加型地域開発：グループディスカッション>

6. 組織の充実

定期総会

日時：2006 年 5 月 20 日 (土) 14:00 ~ 17:00

会場：大阪 YWCA 301 教室

出席者：正会員 9 団体 9 名、準会員 2 団体 2 名、監事 1 名、事務局 10 名 (職員 3 名、ボランティア 7 名)

委任状出席：正会員 13 団体

理事会

年間 9 回開催 (拡大理事会 1 回)

代表理事	(財) PHD 協会	藤野 達也
副代表理事	日本国際飢餓対策機構	清家 弘久
理事	(社) アジア協会アジア友の会	田中 壽美子
理事	(特活) アジアボランティアセンター	三輪 敦子
理事	(特活) AM ネット	石中 英司
理事	(財) 大阪 YMCA	山邊 聡子
理事	(財) 大阪 YWCA	谷川 いづみ
理事	事務局長	榛木 恵子
監事	アーユス関西 = 仏教国際協力ネットワーク 服部 隆志	
監事	大阪市立大学大学院創造都市研究科	柏木 宏

+ ネットワーク再構築のアンケート・ヒアリング結果から加盟団体の意見を明確にし、次年度事業計画に反映させる
ために、9 月に通常の理事会より長く時間をとって拡大理事会を開催した。会場は、加盟団体であるアーユス関西の
事務局がある自敬寺をお借りした。

事務局

事務局長（常勤）

榛木 恵子

職員（常勤）

瀬良 香織

職員（非常勤）

幕谷 安紀子

NGO 専門調査員

宮下 和佳

HP ボランティア

福島 昭夫、武田 かおり（ウェブサイトの更新を担当）

PC ボランティア

坂本 和彦（事務局内の PC メンテナンスを担当）

事務局ボランティア

岩崎 恵美子、小田 祥一郎、梶部 尚子、小酒井 梢子、
住谷 正己、中村 聖子、古家 次男、松平 愛子、
三井 みどり、南 伊紀子、山本 はるか、和田 みのり

インターン

田中 十紀恵（ネットワーク再構築担当）、松岡 めぐみ（調査
研究担当）